

## 最近の WIPO の動き (14)

世界知的所有権機関 (WIPO) 日本事務所 \*

## 1. はじめに

## — 世界知的財産指標 (WIPI) の公表 —

本年 11 月 8 日、WIPO は世界知的財産指標報告書 (World Intellectual Property Indicators (WIPI) Report) 2021 を公表した<sup>1)</sup>。WIPI は、WIPO の出版物の一つであり、約 150 の各国・地域の知財庁と WIPO による統計情報、及び、産業界からのデータ等に基づいて、特許、実用新案、商標、意匠、微生物寄託制度、植物品種保護、地理的表示、クリエイティブ産業といった知的財産分野の動向の年次概要を報告するものであり、2009 年より毎年公表している。本稿では、最新の WIPI に基づき、2020 年の世界各国・地域の知財出願動向を概説する。

## 2. 全体概要

WIPI 2021 によれば、2020 年の世界の知財出願動向に関して、特許出願は 1.6%、商標出願 (区分数) は 13.7%、そして意匠出願 (意匠数) は 2.0%、それぞれ増加した (対前年比)。これは、イノベーター、クリエイター、デザイナー等が、事業の拡大や新たな成長を求めらる中で、知的財産を利用しようとする動きが高まっている状況を示している。また、前年はマイナス成長であった特許出願件数が増加傾向に戻ったことは、世界的なパンデミックの中でもイノベーションが回復していることを示す結果と言える。上記の結果は、2008～2009 年の金融危機の際に特許出願および商標出願双方が大きく縮小したことは対照的と言える。

【表：2019 年、2020 年の特許出願、商標出願、意匠出願、植物品種出願の推移】

知的財産権	2019 年	2020 年	成長率 (%) (2019 年 - 2020 年)
特許出願数	3,226,100	3,276,700	1.6
商標出願で指定された区分の数	15,130,000	17,198,300	13.7
意匠出願に含まれる意匠の数	1,361,000	1,387,800	2.0
植物品種出願数	21,430	22,520	5.1

\* WIPO の外部事務所の 1 つ。東京・霞が関に位置する。詳しくは、WIPO 日本事務所のウェブページをご覧ください：

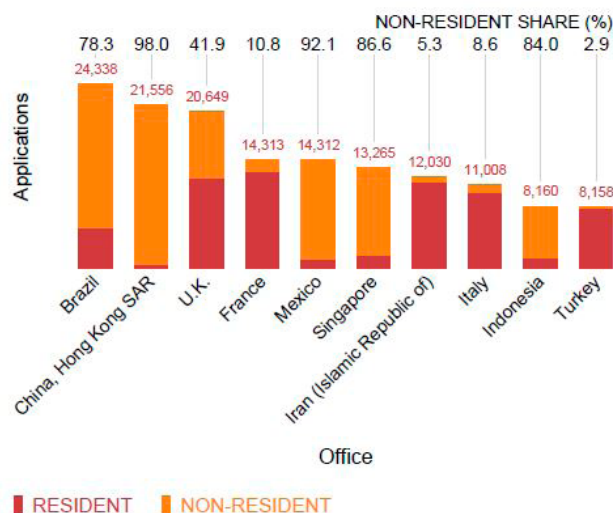
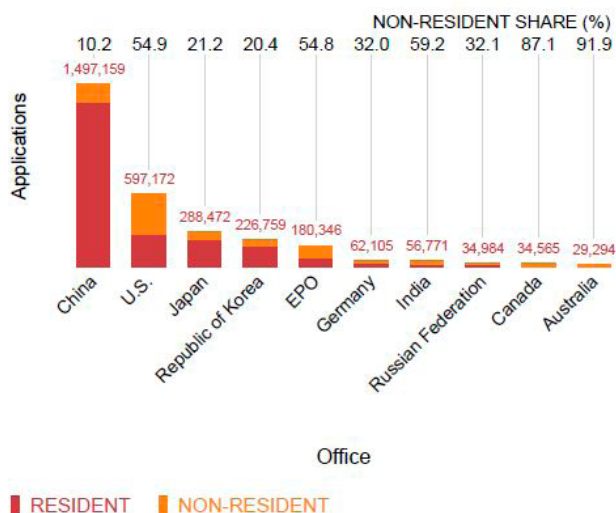
<https://www.wipo.int/about-wipo/ja/offices/japan/>

また、WIPO や WIPO 日本事務所の主要な活動については、ニュースレター (四季報) (日本語版・英語版) にて定期配信中：

[https://www3.wipo.int/newsletters/ja/#wipo\\_japan](https://www3.wipo.int/newsletters/ja/#wipo_japan)

【2020 年の特許出願（受理）件数 上位国・地域知財庁トップ 20  
（左図：1-10 位，右図：11-20 位）】

#### A8. Patent applications at the top 20 offices, 2020



### 3. 特許

#### (1) 各知財庁における特許出願（受理）件数

世界全体の特許出願件数は、中国における落ち込みを一つの要因として 2019 年に 10 年振りに減少したが、2020 年は増加に転じた。2020 年の中国における特許出願は約 150 万件に達し再び増加に転じており、これは、第 2 位の米国 (597,172 件) が受理した件数の 2.5 倍を上回った。なお、中国の件数を除いた場合は、対前年比 2.5% 減であった。米国に次いで、日本 (288,472 件)、韓国 (226,759 件)、欧州 (180,346 件) の順となった。この 5 つの知財庁を合わせると、世界全体の 85.1% を占めていた。上位 10 の知財庁には、ドイツ (62,105 件)、インド (56,771 件)、ロシア連邦 (34,984 件)、カナダ (34,565 件)、オーストラリア (29,294 件) が含まれる。

上位 10 の知財庁の中で、3 つの知財庁 (中国 (+6.9%)、インド (+5.9%)、韓国 (+3.6%)) が、2020 年において対前年で出願数の増加を記録した。一方で、ドイツ (-7.9%) および日本 (-6.3%) は大きく減少した。上図にトップ 20 を示すが、11 位以下を見ると、ブラジル (11 位) やメキシコ (15 位) といった中南米諸国、香港 (12 位)、シン

ガポール (16 位)、インドネシア (19 位) といったアジア諸国・地域もランクインした。これらの地域は非居住者による出願件数のシェアが多いことも特徴である。

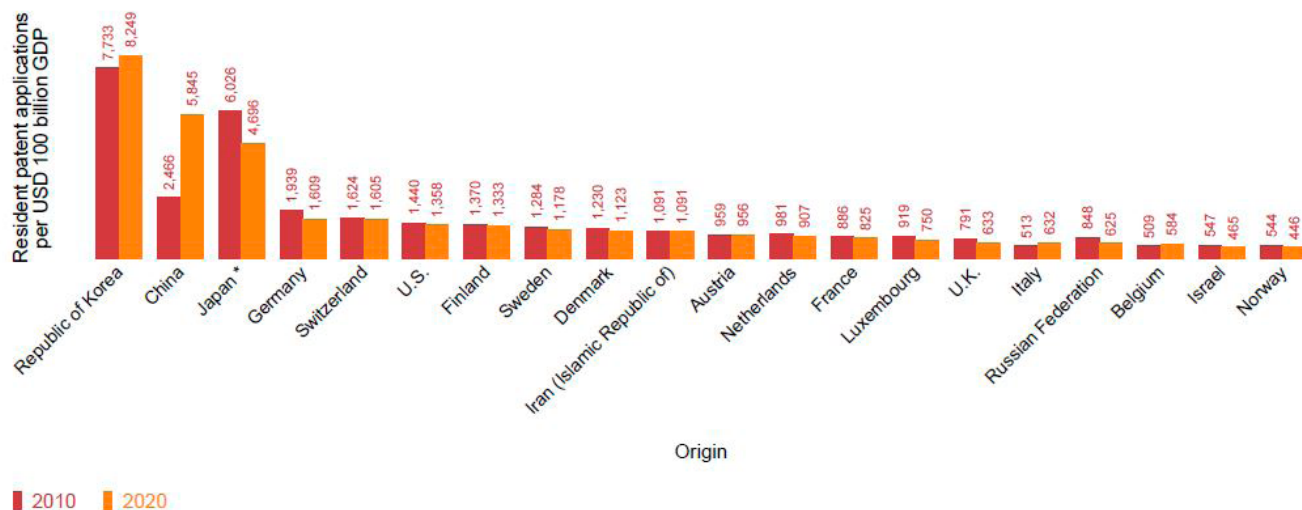
また、アジアの知財庁で、2020 年に世界全体で提出されたすべての出願の約 3 分の 2 (66.6%) を受理しているが、この割合は 2010 年 (51.5%) から大きく増加している。北米の知財庁は世界全体のほぼ 5 分の 1 (19.3%) を占めており、欧州にある知財庁が占める割合は 10.9% と 10 分の 1 程度であった。2020 年におけるアフリカ、中南米カリブ海地域およびオセアニアにある知財庁の占める割合は合計で 3.2% であった。

#### (2) 単位 GDP あたりの居住国・地域別の特許出願件数

WIPI 2021 では、「1,000 億米ドルの GDP 当たりの特許出願数」を居住国・地域ごとに算出したデータを提供しており、これを次図<sup>2)</sup>に示す。1,000 億米ドルの GDP 当たりの特許出願数 (2020 年) がトップだったのは 8,249 件の韓国であった。2 番目に高い比率を記録したのは中国 (5,845 件) で、日本 (4,696 件)、ドイツ (1,609 件)、スイス (1,605 件) と続く。この 5 つの国は 2018 年以降、

【2010 年、2020 年における、居住国・地域別の 1,000 億米ドル GDP 当たりの特許出願数トップ 20】

A37. Resident patent applications per USD 100 billion GDP for the top 20 origins, 2010 and 2020



ランキング上位の国となっている。アメリカ (1,358 件)、フィンランド (1,333 件)、スウェーデン (1,178 件)、デンマーク (1,123 件)、イラン・イスラム共和国 (1,091 件) がトップ 10 を占めている。上位 10 カ国の中では、中国の単位 GDP 当たりの出願件数が大幅に上昇しており、この 10 年で 2,466 件 (2010 年) から 5,845 件 (2020 年) に増加した。なお、上図のランク外ではあるが、ラテンアメリカ地域ではブラジルが 177 件、アフリカ地域ではケニアが 151 件で、それぞれ各地域で最大であった。

### (3) 各国・地域の現存特許数

世界全体における現存特許数は、2020 年に 5.9% 増加して約 1,590 万件に達した。現存特許数が最も多かったのは米国 (約 330 万件) で、次いで中国 (約 310 万件)、日本 (約 200 万件)、韓国 (約 110 万件)、ドイツ (約 80 万件) の順であった。現存特許数は 2020 年に中国で最も大きく増加 (+14.5%) し、次いでドイツ (+8.1%)、米国 (+6.9%)、韓国 (+4.6%) の順であった。日本は 2020 年にわずかに減少 (-0.7%) した<sup>3)</sup>。

### (4) 技術分野別の出願件数

技術分野別<sup>4)</sup>で見ると、世界全体で公表された

特許出願<sup>5)</sup>において最も高い割合であったのはコンピュータ技術で、284,146 件の出願が公表された。次いで電気機械・装置・エネルギー (210,429 件)、計測 (182,612 件)、デジタル通信 (155,011 件)、医療技術 (154,706 件) の順であった。2009 年からの 10 年間の年平均で 10% 以上の伸びを示した技術分野としては、ビジネス方法、機器制御、環境技術、特殊機械の 4 分野であった<sup>6)</sup>。

## 4. 商標

### (1) 各知財庁における商標出願 (受理) 件数 (区分数)

2020 年に世界全体で、約 1,720 万区分に及ぶ推定 1,340 万件の商標出願が行われた。2020 年の出願において指定された区分数は前年より +13.7% と大きく増加し、11 年連続の増加となった。世界中の多くの国で、新型コロナウイルス感染症による深刻な経済活動の沈滞が起きたこととは対照的に、商標の出願は上位 20 の知財庁のうち 16 の知財庁で増加した。さらに、2020 年には、11 の知財庁で 2 桁の増加を記録しており、これらの多くが内国居住者による出願が全体の増加を牽引した。

知財庁別に見ると、中国の知財庁への出願が最も多く、約 930 万区分であった。これに次いで

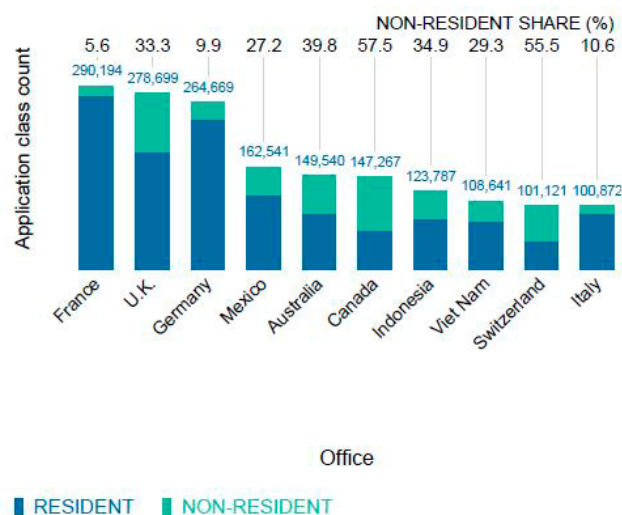
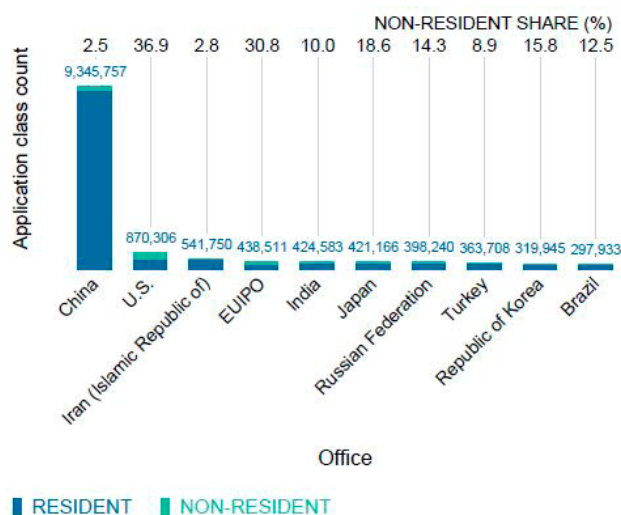
米国 (870,306 区分), イラン・イスラム共和国 (541,750 区分), 欧州連合知的財産庁 (EUIPO) (438,511 区分), インド (424,583 区分) の順となり, インドは, 日本を抜いて, 商標出願受理数が 5 番目に多い知財庁となった。

地域別に見ると, 2020 年の商標出願のうち, アジアにある知財庁が受理した区分数が世界全体の 71.8% を占め, 2010 年の 41.3% から大きく増

加した<sup>7)</sup>。2020 年に欧州域内の知財庁が受理した区分数は全体の 14.7% となり, 2010 年の 34.1% から減少した。2020 年に北米の知財庁が受理した区分数は全体の 5.9%, アフリカ, 中南米カリブ海地域およびオセアニアにある知財庁の合計シェアは 7.7% であった。

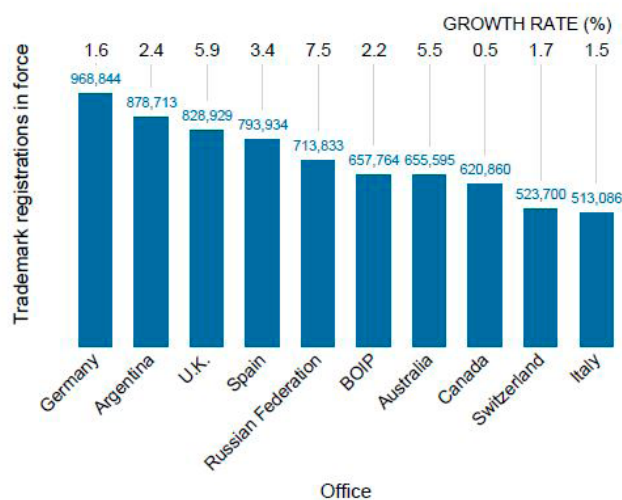
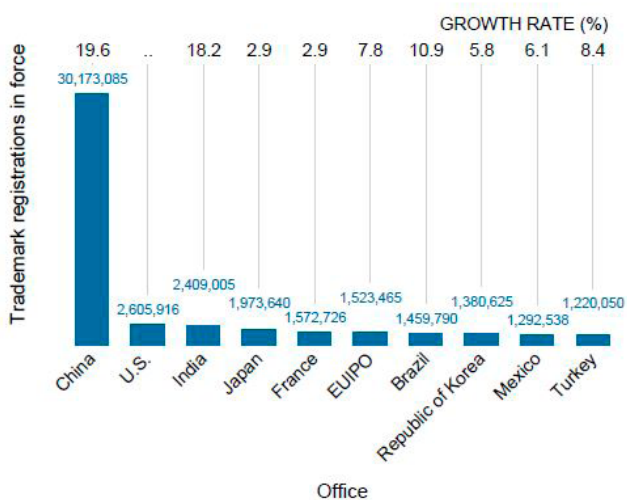
【2020 年における, 商標出願 (受理) 区分数の上位国・地域知財庁トップ 20 (左図: 1-10 位, 右図: 11-20 位)】

**B10. Trademark application class counts for the top 20 offices, 2020**



【2020 年における, 商標登録件数の上位国・地域知財庁トップ 20 (左図: 1-10 位, 右図: 11-20 位)】

**B37. Trademark registrations in force for the top 20 offices, 2020**



### (2) 各知財庁における商標登録件数

2020年に世界全体で有効な商標登録は推定6,440万件あり、2019年から11.2%増加した。そのうち中国が単独で約3,020万件を占め、次いで米国の約260万件、インドの約240万件的順となっており、日本はそれに次ぐ第4位で約197万件であった。また、伸び率を見ると、中国(19.6%)、インド(18.2%)、ブラジル(10.9%)で二けたの成長が見られていた一方、日本は2.9%であった。

### (3) 分野別の商標出願数

分野別で見ると、世界の商標出願を牽引しているのは、広告および経営管理、医薬品、手術・医療・歯科用機器に関連する製品およびサービスの分野における商標出願の増加であった。2020年における医薬品に関連する出願の割合は4.6%となり、2019年の4.1%から増加した。また手術・医療・歯科用機器の割合は1.5%から2.3%にシェアが増加した。

## 5. 意匠

### (1) 各知財庁における意匠出願(受理)件数

2020年に世界全体で、約140万件的意匠数を含

む、推定110万件的意匠出願が行われ、意匠数は対前年比で2.0%増加した。2020年に中国は770,362件の意匠を含む出願を受理したが、これは世界全体の55.5%に当たる数である。次いで、EUIPO(113,196件)、韓国(70,821件)、米国(50,743件)、トルコ(47,653件)の順であり、日本は第8位で31,650件であった。2020年に、上位10の知財庁の中では英国(+9.5%)および中国(+8.3%)が意匠出願において大きな伸びを記録した。

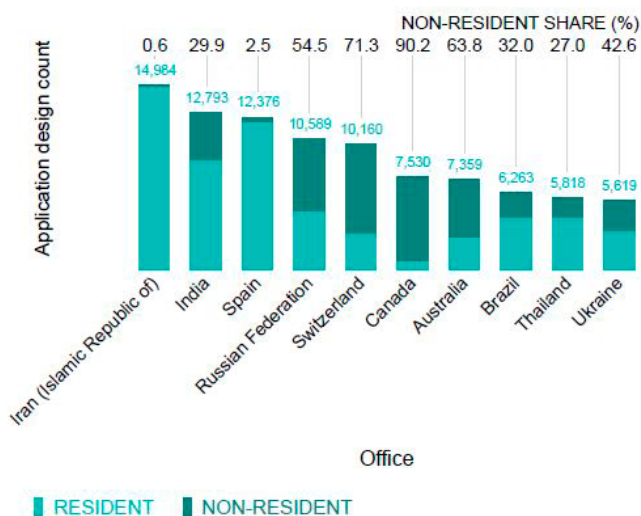
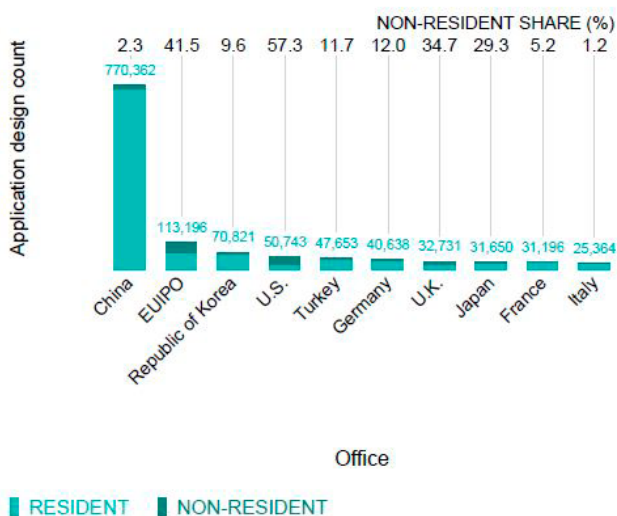
2020年に世界全体で出願されたすべての意匠のうちで、アジアにある知財庁が占める割合は70.9%となり、2010年の60.8%から増加した一方、欧州のシェアは、2010年の31.5%から2020年には22.1%へ減少した。2020年におけるアフリカ、中南米カリブ海地域、北米およびオセアニアの合計シェアは7%であった。

### (2) 各知財庁における意匠登録数

2020年の世界全体における意匠登録の合計は、11%増加して約480万件的に達した。意匠登録件数が最も多いのは中国(2,187,356件)で、次いで米国(371,870件)、韓国(369,526件)、日本(263,307件)、EUIPO(251,692件)の順であった。伸び率では、中国が22.2%と高い伸びを見せており、

【2020年における、意匠出願(受理)意匠数の上位国・地域知財庁トップ20  
(左図:1-10位,右図:11-20位)】

C10. Application design counts for the top 20 offices, 2020



米国 (3.9%)、韓国 (3.0%) と比較し、日本は 0.6% と伸び率が低調であった。なお、英国の伸び率が 21.3% となっているが、これは、イギリスの欧州連合離脱によって、EUIPO ではなく英国知的財産庁での登録を行う必要が生じたことによるものと考えられる。

**(3) 分野別の出願数**

2020 年の世界の意匠出願のうち、家具および家庭用品関連の意匠 (18.4%) が最大の割合を占め、次いで衣料品およびアクセサリー (14.1%)、工具および機械 (11.6%)、電気および照明 (9.8%)、建設 (8.5%) の順であった。

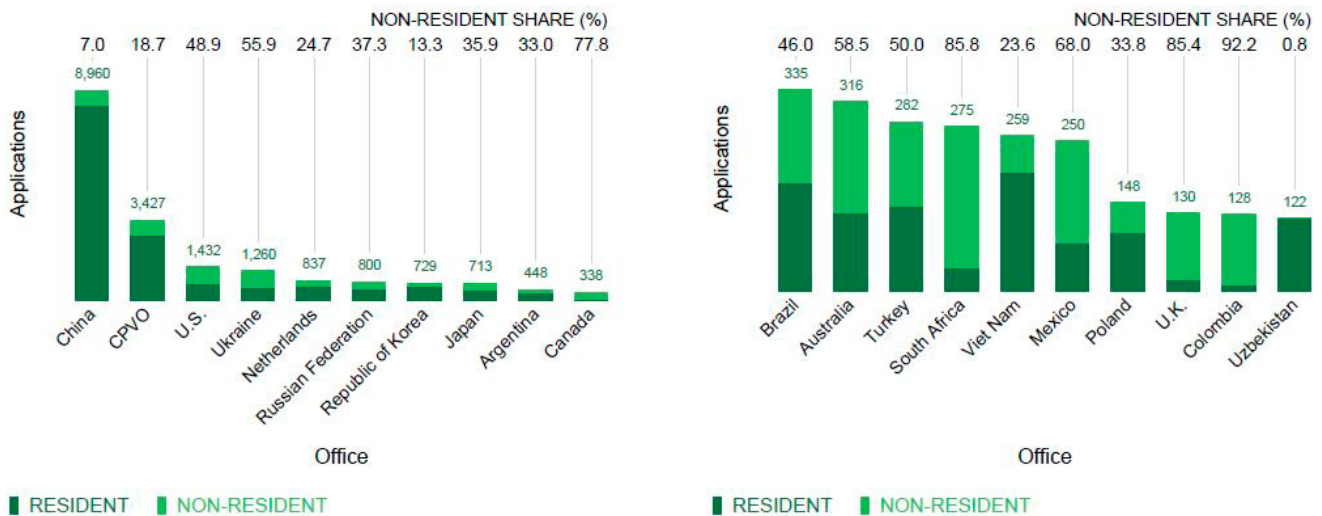
【2020 年における、意匠登録数上位国・地域知財庁トップ 20 (左図：1-10 位, 右図：11-20 位)】

**C28. Industrial design registrations in force for the top 20 offices, 2020**



【2020 年における、植物品種の出願上位国・地域知財庁トップ 20 (左図：1-10 位, 右図：11-20 位)】

**D5. Plant variety applications for the top 20 offices, 2020**



## 6. 植物品種

2020 年に世界全体で約 22,520 種の植物品種出願が行われ、2019 年から 5.1% の増加となった。2020 年に中国の関連官庁は 8,960 件の植物品種出願を受理したが、これは世界全体の 39.8% に当たる。中国に次いで、欧州連合の欧州植物品種庁 (CPVO ; 3,427 件)、さらに米国 (1,432 件)、ウクライナ (1,260 件)、オランダ (837 件) の順となっており、日本は世界 8 位の 713 件であった。

(注)

- 1) WIPI 2021 公表に関するプレスリリース (日本語) :  
[https://www.wipo.int/pressroom/ja/articles/2021/article\\_0011.html](https://www.wipo.int/pressroom/ja/articles/2021/article_0011.html)  
WIPI 2021 全文 (英語) : <https://www.wipo.int/publications/en/details.jsp?id=4571>
- 2) GDP データは 2017 年購買力平価 (PPP) をもとに算出。日本は 2019 年のデータ。
- 3) 詳細データは、WIPI 2021 p.49 図 A39, 40 を参照されたい。
- 4) 技術分野は、WIPO の国際特許分類 (IPC) 技術コンコーダンス表に基づいた 35 に分類したもの。詳細は <https://www.wipo.int/ipstats/en/> を参照されたい。
- 5) この項目では、2019 年に出願された特許の公開件数で算出している。
- 6) 詳細データは、WIPI 2021 p.42 表 A29 を参照されたい。
- 7) 詳細データは、WIPI 2021 p.91 表 B8 を参照されたい。

(原稿受領日 2021 年 11 月 29 日)